

2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

個別施策6 学びを生かす力の育成

めざす姿

子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。

■現状と課題

- 平成 31（2019）年度の全国学力・学習状況調査によると、本市の平均正答率は、小学校6年生においては全国平均を下回るものの、全国との平均正答率との差が縮まってきています。また、中学校3年生においては、国語は全国平均を上回るものの、数学と英語（聞くこと、読むこと、書くこと）は全国平均を下回っています。

- 全国学力・学習状況調査によると、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と思う児童生徒の割合は、中学校3年生において全国平均よりも高くなっています。一方で、家庭学習の時間は、小・中学生ともに全国平均よりも短い状況です。

「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合

	（％）		
	帯広市	全国	差
小6	77.8	77.7	0.1
中3	79.0	74.8	4.2

出典：平成31年度全国学力・学習状況調査
（文部科学省）

- 学ぶことに興味・関心を持ち、自ら課題意識を持って粘り強く取り組む姿勢を育むほか、家庭学習習慣の定着に向けた取り組みが必要です。

■取り組みの方向性

- ICT※などを活用したわかりやすい授業づくりや義務教育期間を見通した教育課程※の編成、学力の分析・検証などを進めます。

※ ICT P5 を参照。

※ 教育課程 P23 を参照。

■主な取り組み

1 学校における授業の工夫・改善

- (1) 学習内容を深く理解し、考えをまとめ、表現する能力を育成するため、学習の目標を示し授業の最後に振り返る活動やグループで話し合う活動など、「主体的・対話的で深い学び[※]」の視点を重視した学習を行います。
- (2) ICT を効果的に活用した授業や、習熟度別学習、小学校における一部教科担任制の導入などを進め、学習意欲の向上を図ります。



ICT を活用した授業

2 学習活動の支援

- (1) 長期休業期間や放課後の時間を活用して学習会を開催するなど、学びの機会を提供します。
- (2) 子どもたちが基礎的・基本的な知識を身に付けるため、学校や家庭において、繰り返し学習することのできる教材を作成します。
- (3) 学校における読書活動や調べ学習を支援するため、図書館において目的に応じた図書セットの貸出を行います。

※ 主体的・対話的で深い学び P9 を参照。

3 教育課程の工夫・改善

- (1) 子どもたちが学習内容の理解を深め、活用できる力を身に付けるため、小・中学校において一貫性のある教育課程[※]を編成します。
- (2) 学校の教育活動や運営の状況についての評価を活用し、教育の質の向上や学校運営の改善を図ります。
- (3) 各学校における学習指導要領[※]の趣旨を踏まえた教育課程の編成、実施を支援するため「教育課程編成の手引き[※]」を作成します。

4 学力の分析・検証

- (1) 子どもたちの学力を調査・分析し、教育指導の充実や学習状況の検証と改善に役立てるとともに、継続的な検証改善サイクルを確立させ、教育内容の質の向上を図ります。

5 体験的・問題解決的学習の推進

- (1) 科学や自然に対する興味・関心を高め、科学的なものの見方や考え方を養うため、観察・実験などの体験的な学習を進めます。
- (2) 科学への興味・関心を深め、知識を身に付けるため、児童会館において専門の指導員による、実験室やプラネタリウム、天文台などの科学関連施設を活用した宿泊学習や出前講座などの取り組みを進めます。
- (3) 図書館において関係機関などと連携し、子どもたちが課題解決に向けて自ら意欲的に調べる学習の機会を提供します。



宿泊学習

※ 教育課程 P23 を参照。

※ 学習指導要領 全国どの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、学校教育法等に基づき、国が定めた教育課程を編成する際の基準。

※ 教育課程編成の手引き 各学校が教育課程を編成する際に参考とするための手引き。

個別施策7 豊かな人間性と創造性の育成

めざす姿

子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。

■現状と課題

- 全国学力・学習状況調査によると、「学校のきまり（規則）を守っている。」と回答した児童生徒の割合は、小学校6年生において全国平均より低い状況にあります。また「自分にはよいところがある。」と回答した児童生徒の割合は、小学校6年生では全国平均よりも低く、中学校3年生では全国平均よりも高くなっています。

「学校のきまり（規則）を守っていますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合

	帯広市	全国	差
小6	91.3	92.3	-1.0
中3	96.8	96.2	0.6

出典：平成31年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

- 子どもたちの規範意識や相手を尊重する態度、生命を大切に作る心や相手を思いやる心を育むためには、道徳教育の充実を図る必要があります。

「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合

	帯広市	全国	差
小6	79.7	81.2	-1.5
中3	77.0	74.1	2.9

出典：平成31年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

- 言葉を学び、表現力を高め、創造力を豊かにするため、読書が果たす役割は重要ですが、1日当たり10分以上読書をする児童生徒の割合は、小学校6年生において全国平均より低い状況にあります。このため、子どもたちが読書に親しむ機会を充実させる必要があります。

普段（月～金）、1日当たり10分以上読書をする割合

	帯広市	全国	差
小6	63.6	65.7	-2.1
中3	51.0	50.4	0.6

出典：平成31年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

- 地域社会や人間関係の希薄化が進む中、子どもたちの豊かな人間性や創造性を育むため、様々な体験の機会を創出する必要があります。

■取り組みの方向性

- 「考え、議論する道徳[※]」の授業や、学校・家庭・地域・関係機関などが連携した多様な体験の機会を充実させることにより、豊かな人間性を育みます。

※ 考え、議論する道徳 他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育むため、答えが一つではない道徳的な課題を一人ひとりの児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う道徳の授業。

■主な取り組み

1 道徳教育の充実

- (1) 子どもたちが、よりよく生きるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付けるため、各学校における指導方法を工夫・改善し「考え、議論する道徳」を進めます。
- (2) 道徳科の授業公開を進めるほか、家庭や地域、専門家などの参加や協力を得ながら授業を実施します。

2 読書活動の推進

- (1) 学校において、朝の時間や休み時間を活用した読書、図書ボランティアの協力による読み聞かせ、蔵書整備や図書館との連携を進めるなど、読書活動の充実を図ります。また、教育委員会において学校司書[※]の役割の実現に向けた検討を進めます。
- (2) 図書館において、ボランティア団体によるおはなし会の開催や、発達段階に応じた図書の情報提供、読書相談などを行い、読書に親しむことができる環境づくりを進めます。



図書ボランティアによる読み聞かせ

3 文化芸術活動の推進

- (1) 学校における図画工作、美術や技術などの授業のほか、文化系活動への支援、鑑賞機会の提供などにより、子どもたちの文化芸術活動を進めます。

※ **学校司書** 学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員。

4 体験活動の推進

- (1) 学校において、地域の特色を生かした体験活動を進めるほか、社会教育施設において工作活動、飼育体験、科学体験、文化芸術体験などの機会を提供します。



親子陶芸教室

- (2) 子どもたちの多様な体験活動を充実させるため、家庭や地域と連携・協働し、地域人材を活用した授業やボランティア活動などに取り組みます。



地域の清掃活動

個別施策8 健やかな体の育成

めざす姿

子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。

■現状と課題

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合は、全国平均よりも高いものの、体力合計点は全国平均を下回る結果となっています。

		帯広市	全国	差
小5	男子	53.98	54.21	-0.23
	女子	55.76	55.90	-0.14
中2	男子	41.61	42.32	-0.71
	女子	48.11	50.61	-2.50

出典：平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）

- 平成27（2015）年に学校給食センターが改築され、アレルギー食への対応や、衛生面の向上などが図られています。食物アレルギーを持つ子どもたちが増加する傾向にある中、引き続き、安全・安心な給食を安定して提供していく必要があります。

- 家庭におけるライフスタイルの変化などに伴い、食生活が乱れたり、歯みがきの習慣が無い場合むし歯になる子どもがいます。食事や健康に関する正しい知識を身に付け、適切に意思決定できる力を育む必要があります。

「朝食を毎日食べていますか」という質問に対し「している」「どちらかといえば、している」と答えた割合

	帯広市	全国	差
小6	93.8	95.3	-1.5
中3	93.2	93.1	0.1

出典：平成31年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

- インターネットやスマートフォンの普及に伴う性情報の氾濫や SNS※を介した性的トラブルが増加するなど、社会環境が大きく変化する中、子どもたちは、性に関する正しい知識を身に付ける必要があります。

■取り組みの方向性

- 体育などの授業における指導方法の改善やメニューを工夫した学校給食の提供、食や保健に関する理解を深める取り組みなどにより、子どもたちの健康な体づくりを進めます。

※ SNS 登録した利用者同士が交流できる Web サイトのサービスのこと。Social Networking Service の略。

■主な取り組み

1 体力・運動能力の向上

- (1) 各学校において、子どもたちが基礎的な体力・運動能力を身に付けるための授業改善に取り組みます。また、全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果を検証し、授業や生活習慣の改善に役立てるなど、体力・運動能力を向上させるための検証改善サイクルを確立します。
- (2) 体力向上推進プロジェクトチーム[※]を設置し、長期休業期間中における研修の開催や子どもたちの体力・運動能力の分析・検証を行います。
- (3) 部活動については学校教育の一環としての役割を踏まえ、生徒のバランスのとれた生活や心身の成長に配慮するとともに、教員の過度な負担とならないようにするため、「帯広市立学校に係る部活動の方針[※]」に基づき取り組みます。
- (4) スポーツ系活動への支援やスピードスケート教室の開催など地域の特色を生かした活動などにより、子どもたちへのスポーツ活動の普及を進めます。



スピードスケート教室

2 安全・安心な学校給食の提供

- (1) 安全・安心な学校給食を提供するため、メニューの工夫・改善をしながら、十勝・帯広の新鮮で安心な食材を使用した給食を提供するとともに、食物アレルギーへの対応を行います。
また、衛生管理の徹底を図るとともに、施設・設備の保守点検などを計画的に行い、安定した給食の提供に努めます。
- (2) 学校給食センターのこれまでの運営状況や社会情勢の変化などを踏まえて、今後の安定的かつ効率的な運営手法について調査・研究します。
- (3) 教職員の負担軽減や適切な金銭管理、保護者の納入に係る利便性の向上などを図るため、学校で徴収している給食費の給食センターへの徴収一元化について検討を進めます。

※ 体力向上推進プロジェクトチーム 体力・運動能力の向上に資する教職員研修の開催や様々な資料提供及び実践事例の提供を行い、児童生徒の体力・運動能力の向上に向けた取り組みを支援することを目的として現職の教員で構成する組織。

※ 帯広市立学校に係る部活動の方針 P25 を参照。

3 正しい「食」への理解の推進

- (1) バイキング給食の実施や食育通信の配布などにより、子どもたちが「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、栄養や食事のとり方などについて、正しい知識に基づいて自ら判断し、健全な食生活を実践できる資質・能力を育成します。
- (2) 学校食育推進会議※により、食に関する指導の充実を目指すとともに、各学校に栄養教諭※・食育指導専門員※を派遣し、給食指導の支援や食に関する情報提供などを行います。
- (3) 図書館において、食に関するパスファインダー※の作成や食関連の図書の展示などにより、食への理解を深める機会の提供に取り組みます。



食育指導専門員による出前授業

4 健康教育・健康保持

- (1) 子どもたちが健康に関する知識を身に付けるため、家庭や関係機関との連携を図りながら学校の教育活動全体を通じて、がん教育や体育・健康に関する指導を行います。
- (2) 子どもたちの健康の保持増進のため、各学校において関係団体と連携し学校保健推進体制を整備するとともに、健康診断やフッ化物洗口など、子どもたちの将来の健康を守る取り組みを進めます。
- (3) 子どもたちが性に関する正しい知識を身に付けるとともに、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、発達段階に応じた教育を進めます。

※ **学校食育推進会議** 学校給食を生かした帯広らしい学校における「食に関する指導」の充実を図り、児童生徒が健やかに生きるための基礎を培う食育の推進を図ることを目的とした会議。

※ **栄養教諭** 学校教育法第37条の規定により「児童生徒の栄養の指導及び管理をつかさどる」ことを職務としており、栄養に関する専門性と教育に関する資質を併せ有する教育職員。

※ **食育指導専門員** 栄養教諭や栄養士、関係部署等と連絡した食育の推進を図り、小・中学校を巡回しながら食に関する指導をサポートする職員。

※ **パスファインダー** 特定のテーマについて調べるために役立つ資料を紹介したリーフレットのこと。

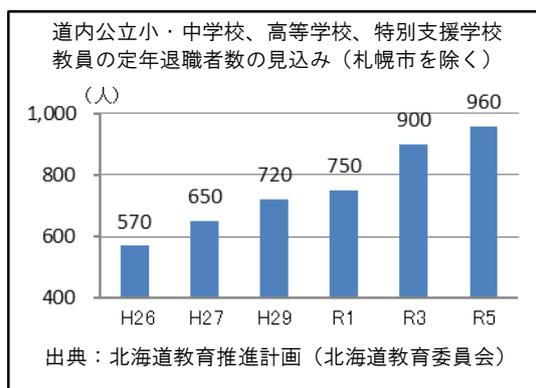
個別施策9 教員の資質・能力の向上

めざす姿

教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。

■現状と課題

- 子どもたちが新しい社会を創造する資質・能力を身に付けるため、教員が「主体的・対話的で深い学び[※]」の実現に向けた指導方法を習得するなど、指導力を向上させる必要があります。一方、近年の大量退職の影響により、学校によっては、教員の年齢構成の不均衡が生じており、若手教員の指導力の向上が重要となってきています。



- 教職員は日々の授業の準備、生徒指導、部活動指導のほか、学習指導要領[※]の改訂に伴う指導技術の習得や多様化する教育的ニーズへの対応など業務量が増加しています。
- 事務や部活動などに係る負担を軽減し、教員が子どもたちに向き合える時間をより多く確保し、健康でいきいきとやりがいを持って勤務できるよう、学校における働き方改革を進める必要があります。

帯広市立小・中学校教職員の平成30年10月
1カ月間における時間外勤務時間の状況

(時間)	
小学校	中学校
40.3	67.8

出典：帯広市教育委員会

■取り組みの方向性

- 教職員の資質・能力を向上させるために、研修の実施や働き方改革を進めます。

※ 主体的・対話的で深い学び P9 を参照。

※ 学習指導要領 P28 を参照。

■主な取り組み

1 教員の指導力の向上

- (1) ICT[※]の活用技能の向上や外国語活動における効果的な指導方法の習得など新しい学習指導要領に適確に対応するための研修講座の開催や、学校内におけるOJT研修[※]などにより、教員の指導力の向上に取り組みます。
- (2) 日頃の教育活動を家庭や地域に公開し、指導方法の工夫・改善に生かす取り組みを進めます。
- (3) 学校において、児童生徒や保護者アンケートなどに取り組み、教員の指導力の向上や学校運営の改善を図ります。
- (4) スケート技術や指導方法を身に付けるため、教員向けスピードスケート教室を開催します。



教員向けの研修会

2 教職員の働き方改革の推進

- (1) 教職員が本来の仕事に集中し、健康で生き生きとやりがいを持って勤務できる環境を整備するため、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン[※]」に基づく取り組みを進めます。
- (2) 教職員の校務効率化に係るソフトの開発や、教務用パソコンの整備、校務支援システム[※]の導入など、教職員の業務効率化に向けた検討を進めます。

※ ICT P5を参照。

※ OJT研修 職場の上司や先輩が部下に対し、具体的な仕事を通じて、職務に必要な能力を修得させることによって、全体的な業務処理能力や力量を育成する活動のこと。On the Job Trainingの略。

※ 帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン 帯広市立学校における働き方改革を推進するため、教育委員会や各学校が積極的に取り組む項目をまとめたもの。平成30(2018)年5月策定。

※ 校務支援システム 教職員の校務の負担を軽減するとともに、児童生徒の成長を教職員全体で見守るきめ細かな指導の充実等を図ることを目的に、学校や児童生徒に関する様々な情報をデジタル化し、教職員間で共有するシステム。